

## 中国新聞 デジタル

出典 中国新聞  
2021年3月25日号

クラシック音楽が流れる室内で、森信秀樹社長（68）が机に広げた図面に向き合う。部屋は事務所がある本社ビル2階の一角。3～6階は運営する賃貸マンションや認知症の高齢者のグループホームで、7階に自宅がある。「何かあってもすぐ駆け付けられる。この部屋は戦場だと思っている」と強調する。



上田宗岡家元の書などを飾った部屋で働く森信社長

4月に創業130年を迎える建設会社の4代目。住宅新築や建物の改修を手掛け、建物を断熱材で覆う外断熱を得意とする。モットーは「誠実」だ。「顧客が何を不便に感じているか丁寧に聞けば、自然と工事につながっていくものだ」と説く。

約30年前に父から受け継いだ社長室には「好語不可説尽」との書を掲げる。茶道上田宗箇（そうこ）流の上田宗岡（そうけい）家元がしたためた。良いことでも言葉を尽くすとかえって伝わらないとの意で「しゃべり過ぎないように、自戒も込めて飾っている」。

2013～17年に広島経済同友会の代表幹事を務め、今も同友会の特別幹事や広島県人事委員など複数の職に就く。部屋の資料は増える一方といい「小まめに整理しないと」と笑う。（秋吉正哉）

《会社概要》本社は広島市中区富士見町。1891年創業。建設工事のほか本社ビルと東区、佐伯区でグループホームを運営する。従業員63人。2020年11月期の売上高は8億6千万円。